

ハイホーネブライザー

再使用禁止

＊【警告】

- ・安全確保のため、取扱説明書と本添付文書を読み、操作方法や保守点検を十分理解されたうえで、ご使用ください。（記載事項に従わないと重大な事故に結びつくことがあります。）
- ＊高濃度酸素の環境下では、酸素中毒の可能性がありますので血液中の酸素濃度が過剰にならないように酸素投与量を注意深くモニターすること。（患者の状態の変化により処方流量が適正ではなくなる可能性があります。）
- ＊CO₂ナルコーシスの可能性のある患者には高濃度酸素投与には注意すること。（呼吸が抑制される等、危険状態に陥る可能性があります。）
- ＊使用時には処方流量が適正かどうかパルスオキシメータで定期的に酸素飽和度をチェックすること。（患者の状態の変化により処方流量が適正ではなくなる可能性があります。）
- ＊酸素吸入器です、それ以外の用途には使用しないこと。（重大な事故に結びつくことがあります。）
- ＊医師の処方がない酸素吸入は行わないこと。（処方のない酸素吸入は酸素中毒やCO₂ナルコーシスの原因となることがあります。）
- ＊使用時には、患者側に酸素が供給されていることを確認すること。（接続する機器や不具合により、酸素が供給されないことがあります。）
- ＊使用場所では火気厳禁、通風と換気に十分注意すること。（酸素濃度が高くなると物質の燃焼性が著しく増加します。）
- ＊油脂類、また塵埃等の付着がないこと、またスプレー缶等可燃物との同時使用は厳禁です。（爆発的燃焼を起こすことがあります。）
- ＊ガス漏れが発見されたら、直ちに付近の火を消し使用を中止すること。（爆発的燃焼を起こすことがあります。）
- ＊使用前に必ず保守点検し、異常が認められたら使用しないこと。（保守・点検を怠ると重大な事故につながる可能性があります。）
- ＊専用の酸素流量計セフティフロー（P312）もしくはフロージェントルプラス（P形）（P-35LH）を使用すること。（恒圧式もしくは二次圧0.35MPa以上で35L/min供給可能な流量計を使用しないと、設定通りに酸素濃度が供給できません。）
- ＊ヒーター使用中はボトル内の水が下限水位以下にならないよう、1時間毎に定期的に水量を確認すること。（空焚きにより、ボトルが変形・損傷する恐れがあります。）
- ＊生理食塩水を使用する際は、ヒーターを使用しないこと。（ヒーターが腐食し、故障の危険性があります。）
- ＊滅菌水及び生理食塩水以外の医薬品の投与には使用しないこと。（上記以外の医薬品の投与に使うと、重大な事故に結びつくことがあります。）

＊

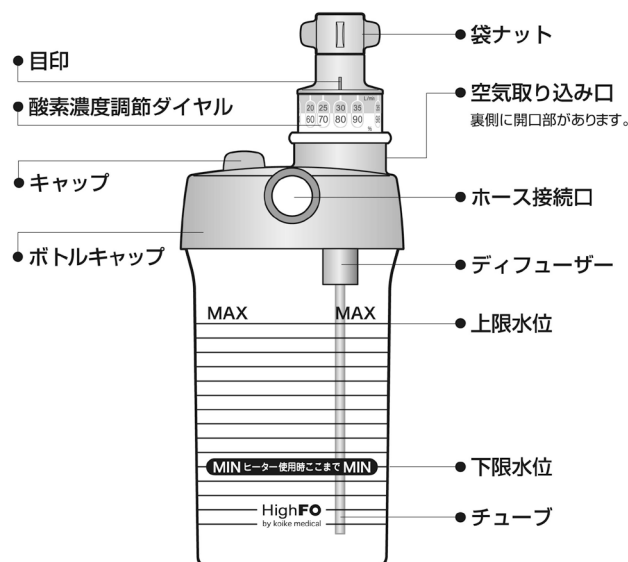
＊＊【禁忌・禁止】

＊＊再使用禁止

- ・人工鼻と併用しないこと。（エアロゾルにより人工鼻が閉塞し、換気ができなくなるおそれがあります。）
- ＊本品はディスプレイ製品であるため、再使用しないこと。（本品はゴム部品やプラスチック部品を使用しているため、滅菌・消毒により変形、損傷の恐れがあるばかりか正しい性能を発揮できない可能性があります。）
- ＊本品は24時間を限度に使用し、再使用しないこと。（細菌感染の恐れがあります。）
- ＊滅菌水の注ぎ足しは行わないこと。（細菌感染の恐れがあります。）
- ＊酸素濃度ダイヤルの下段に酸素濃度を、上段に酸素流量を記載しているため、それに合わせて設定すること。（設定を間違えると正しい酸素濃度が供給されません。）
- ＊酸素濃度調整ダイヤルの目盛を数字の中間にセットしての使用はしないこと。（酸素濃度は保証できません。）
- ＊本品に使用するマスクは孔の大きいマスクを使用すること。（孔の小さいマスクや、孔をふさぐと設定通りの酸素濃度の供給はできません。）
- ＊接続部に緩みやガタツキが見られたら使用しないこと。また、構成部品に不足があるものは使用しないこと。（部品が外れたり酸素が漏れる可能性があり、正常な機能や安全を保てなくなります。）

＊【形状・構造及び原理等】

1. 形状



- ①外形寸法: 222 × φ88mm
 - ②重量: 160 ± 5g
 - ③ホース接続口: 口径 φ22mm
- 本品は未滅菌品です。

＊2. 性能及び安全に関する規格

(1) 使用ガス 医療用酸素

(2) 性能 酸素濃度 ±3%

酸素流量 (L/min)	10	15	20	25	30	35	35
酸素濃度 (%)	40	50	60	70	80	90	98
トータルフロー (L/min)	42	41	41	40	40	40	36

(3) ボトル実内容積: 420cc

3. 原理

酸素供給源に接続して、供給された酸素をノズルによって狭窄するとジェット気流となる。これを吸引孔に吹き付けるとベンチュリー効果によりチューブ内に陰圧が発生する。この陰圧を利用することにより、チューブから滅菌水等が吸い上げられエアロゾルが発生する。また、ジェット気流がディフューザーを通過すると陰圧が発生し、空気取り込み口の開口量を調整すると、空気の取り込み量が変化し、酸素濃度が調整する。

＊【使用目的又は効果】

本品は患者に吸入させるため、エアロゾル化した水を供給する装置である。

＊【使用方法等】

1. 本品を使用する前に、チューブやディフューザー、キャップが接続されていることを確認する。
2. 専用の酸素流量計 セフティフロー（P312）もしくはフロージェントルプラス（P型）（P-35LH）をアウトレットバルブに接続する。
3. 酸素流量計の出口ニップルに本品の袋ナットを取り付け、袋ナット周辺からの酸素漏れがないことを確認する。
4. ホース接続口に蛇管を接続する。
5. 上限水位まで滅菌水（もしくは生理食塩水）を入れる。また、漏れが発生しないよう、ボトルキャップとボトルの接続がしっかりと締め付けられていることを確認する。
6. 酸素濃度調整ダイヤルの下段に酸素濃度が表示されているので処方された酸素濃度に黄色のゴム部分を持ってあわせる。
7. 流量計を酸素濃度調整ダイヤルの上段の酸素流量の数字に合わせる。

8. マスクは孔の大きいマスクを使用し、マスクの孔と周囲をふさがないようにする。
9. 滅菌水を補給する場合は残った滅菌水を棄てて再度、上限水位まで入れる。
10. 感染防止のために 24 時間を限度に使用し、再使用しないで下さい。
本品が汚染されるとそれらを含んだエアロゾルを患者に送ってしまうので使い終わったら、酸素流量計を止めてボトルを空にする。
11. ヒーターを使用する場合には、本品のキャップを取り外す。ヒーターアダプターを装着してからヒーターを本品に差込み1～7の操作を行う。
本品からヒーターを取り外す場合には電源コードをコンセントから抜きヒーターの金属部分が冷えてから行ってください。
12. ウォータートラップを接続するときは蛇管を半分の長さに切って、ウォータートラップが一番低くなるように接続すること。

【使用上の注意】

1. 小児喘息患者では滅菌水のエアロゾルが刺激となり、発作が誘発される場合があるので、生理食塩水を用いること。
2. 上限水位以上に滅菌水や生理食塩水を入れてないことを確認すること。ディフューザーまで水位が達していると、設定通りの酸素濃度が供給できません。
3. ホース接続口の口径はφ22mm であるため、それ以外のものを接続すると抵抗となり、設定通りの酸素濃度が供給できない。
4. 袋ナットを締めつけすぎると、割れや破損する可能性があります。
5. 空気取り込み口の近くに遮蔽物があると空気取り込みができないため、酸素濃度の調整ができない可能性があります。
6. 蛇管が閉塞されると空気取り込み口からガスが流出し、設定通りの酸素濃度が供給できません。
7. 酸素濃度調整ダイヤルの表示が消えたり、外れているものは使用しないこと。
8. ヒーターは必ずハイパーヒーターを使用すること。また、必ずヒーターアダプターを取り付けて使用すること。
9. 使用後ヒーターを取り外す場合には、ヒーターの金属部分を持たないこと。冷え切らないうちに持つと火傷します。

*【保管方法及び有効期間等】

保管方法

水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光のあたる場所を避けて常温で保管してください。

【取扱い上の注意】

1. 本品に転倒及び落下等の衝撃を加えないでください。
2. 使用済みの本品又は本品に使われている部品などを廃棄処分する場合は、適合する法規に従って廃棄すること。

【保守・点検に係る事項】

使用前に必ず下記のことを目視で確認してください。

1. 本品に亀裂、損傷および変色、劣化、落下等による変形等がないか。
2. 本品内にセット部品が外れて落ちていないか。

*(この項目削除)

*【主要文献及び文献請求先】

株式会社 群馬コイケ

〒372-0855 群馬県伊勢崎市長沼町222-1

TEL 0270-32-4318

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社 群馬コイケ

*TEL 0270-32-4318